

東京立正短期大学 研究活動における公的資金の不正使用防止に関する基本方針

研究活動に投じられている公的資金は、税金が原資となっており、社会からの信頼と負託によって支えられている。したがって、公的資金の管理および運用は、東京立正短期大学（以下、「本学」という。）の責任において適正に行わねばならない。

本学は、公的資金が適正に使用されるよう、不正使用を誘発する要因を除去するため、以下のように基本方針を定める。

1. 不正使用防止および不正使用に対する責任体系を明確化し、学内外に公表する。
2. 事務処理に関する職務権限やルールを明確化する。
3. 不正を誘発させる要因に対応した不正使用防止計画を策定し、計画に則った対策を実施する。
4. 公的資金の適正な管理・運営のため、実効性のあるチェック体制を構築する。
5. 公的資金の使用ルール等が共有・共通理解される体制を構築する。
6. 公的資金の不正使用が起きない環境を作るため、モニタリング体制を整備する。